

「関西NBCニュービジネスアワード 2020」授賞者一覧

【アントレプレナー部門】

◆グランプリ 近畿経済産業局長賞

対象事業：超小型・超軽量のAIを普及させ、便利で快適な社会をつくります
～“キャッシュAI”が作る最適化社会～

会社名：株式会社 Geek Guild

代表者：代表取締役 尾藤 美紀(ビトウ ミキ)

URL: <https://www.geek-guild.jp/> E-mail:mikibito@geek-guild.jp

TEL:075-393-3015

会社設立：2018年6月、資本金：16,000千円、従業員数：6人、売上高：7,810千円

事業概要：

京都府、近畿経済産業局との連携でAIで最適化された街づくりを実現する。「京都薬局プロジェクト」は京都の小規模調剤薬局のデジタル化・AI導入を推進し、消費者は薬局に行かずに処方箋を送るだけでお薬が届く仕組みをつくる。太陽光発電施設の異常検知を無償提供。エネルギーの最適化を進める。近畿経済産業局のスマートシティ構想に結びつけ、当社の世界初の超小型、超軽量キャッシュAIで豊かな生活環境を創造する。



◆関西 NBC 会長特別賞 ※選考当日新たに増設いたしました。

対象事業：SNSを使った発達障がい児特化型の家庭学習支援事業

会社名：株式会社ぱんだの庭

代表者：代表取締役 吉田 抽香里(ヨシダ ユカリ)

URL: <http://pandanoniwa.co.jp> E-mail: info@pandanoniwa.co.jp

TEL: 06-6842-9910

会社設立：2018年7月、資本金：2,000千円、従業員数：15人、売上高：98,891千円

事業概要：

年長から小学校3年生までの発達障がい児、もしくはその可能性がある子どもとその親(主には母親)を対象に、LINEやFacebookといったSNSを利用し、各学年毎の個別プログラムにそって、弊社独自の良問を厳選した学習教材を開発、販売を行う。それ以外にも、毎日のZOOM教室(月～土 45分/回)や、公式LINEからの学習相談も付加サービスとして提供する等発達障がい児に特化した家庭学習支援である。また、グループカウンセリングなどを通じ、本事業が発達障がいを持つ親子の情報交換などプラットホームとしての役割も担っていく。



◆部門賞

(順不同)

対象事業：訪問薬剤師による障害者医療支援の全国展開

会社名：カンエ

代表者：代表 松本朋子(マツモト トモコ)

URL: <https://www.kannerelations.com>

E-mail: kane.relations@gmail.com、TEL: 06-6195-1456

会社設立：2018年3月、資本金：3,000千円、従業員数：1人、売上高：5,314千円

事業概要：

空中店舗による「障害のある患者」向け訪問薬剤管理事業を展開する。一般的には大手ドラッグストアを中心に主に高齢者向けサービスとして利用されているが、カンエ薬局では、空中店舗化と独自の仕組みにより低コスト&低リスク&少人数&短時間で運営できる。また「障害のある患者」をメインとすることで独自のポジショニングを築き、フランチャイズ化による全国展開を目指す。さらに残薬の解消にも繋がるため社会課題に挑戦する。



対象事業：香り空間演出及び香りグッズOEM制作事業

会社名：株式会社 SceneryScent

代表者：代表取締役 郡 香苗(コオリ カナエ)

URL: <https://sceneryscent.com> E-mail: kanae@sceneryscent.com

TEL: 06-6202-8022

会社設立：2019年3月、資本金：5,500千円、従業員数：4人、

売上高：3,563千円

事業概要：

香り演出で空間などの価値を高め感動の「記憶」を作る。現在は主に劇場やテーマパーク等の大型空間ですばやく香りを拡散させ不要な際には直ちに消える香り演出機器セントマシン(実用新案取得)を販売・レンタルを行う。さらにオリジナル香料もオーダーメイド調合販売。集客効果やブランディングを目的とした臭覚マーケティングにも応用。また、リアルに身近に感じられる唯一無二の人物の香りグッズをOEM製造。更に3年以内に新しい香りデバイスを開発予定。



対象事業：メンタルヘルス血液検査による働く人の健康増進と組織生産性の向上

会社名：株式会社 E-GAO

代表者：代表取締役 勝村 史昭(カツムラ フミアキ)

URL: <https://e-gao.jp/> E-mail: katsumura@e-gao.jp

TEL: 06-6386-1651

会社設立：2017年12月、資本金：28,085千円、従業員数：4人、

売上高：23,138千円

事業概要：

当社のビジネスモデルは、世界最先端のメンタルヘルス血液検査技術(国際特許取得済み)を活用し、働く人々の健康増進、さらには彼らの働き甲斐の向上を通じた組織競争力の強化に資するサービスを提供することである。個人のメンタルヘルス状態の見える化と、それに応じた最適なメンタル支援を行うことによって、我が国の健康長寿と経済成長の実現に貢献していくことを目指している。



対象事業：お試し利用無料！誰でも簡単に身近なAI“OpenPoC”

会社名：株式会社 Anamorphosis Networks

代表者：代表取締役 辻本 翔悟(ツジモト ショウゴ)

URL: <https://www.anamorphosis.net>

E-mail: info@anamorphosis.net TEL: 075-746-7787

会社設立：2018年11月、資本金：2,180千円、従業員数：13人

事業概要：

OpenPoCは、誰もが無料で簡単にAI・画像処理技術を活用した技術検証(PoC)ができるサービスである。弊社HPより公開(Open)している専用アプリをダウンロードすると、すぐに技術検証を行うことができる。OpenPoCの特徴は使い勝手の良さにある。解析結果を視覚的に解釈できるため、高度な専門知識が必要ない。これにより、システム導入の際に最も時間のかかる技術検証業務の内製化が可能であり、スピーディーなシステム導入をサポートすることができる。



【ビジネスプラン部門】※最優秀賞は二組となりました。

◆最優秀賞

(順不同)

対象事業: 一文注釈共有サービス「Comment Share」
～つまずく初学者を救え～

チーム名: Get-C

代表者名: 吉成 祐貴(ヨシナリ ユウキ)

奈良先端科学技術大学院大学 修士1年

E-mail: yoshinari.yuki.yw3@is.naist.jp

事業概要:

私たちは、「論文のPDF上でユーザー同士の注釈を共有する機能」を持つPDFリーダーを提供する。「Comment Share」は、このPDFリーダーおよびそれを提供するサービスの総称である。本サービスはブラウザ上で動作する web アプリケーションによって提供される。現在、プロトタイプ版を実際に公開して運用中である(<https://commentshare.work>)。「Comment Share」によって、論文を読む人は疑問点や注釈を簡単に共有することができ、論文を読む助けとなる情報を得ることができる。また、専門分野について詳しいユーザーについてのビッグデータを蓄積することができる。



◆最優秀賞

対象事業: MeeCon(ミーコン)

～アイデアを実現するテクノロジーファンディング～

チーム名: MeeCon

代表者名: 池山 哲良(イケヤマ テツロウ)

国立奈良工業高等専門学校 専攻科1年

E-mail: meecon.official@gmail.com

事業概要:

学生の「実践力」がますます重要視される現代において、アイデアを実現に結びつけるプロセスを有するコンテストへの参加は、学生が「実践力」を向上させる手段として有効である。本ビジネスは、コンテストに参加したいと考える学生が自らのアイデアを発信し、様々な技術をもつ仲間や企業とつながることができる「テクノロジーファンディング型」Webサイトを創設し、学生のもつ革新的なアイデアの実現を支援する。



【U-19 部門】

◆グランプリ

対象企業：高校生から教わる習い事教室

学 校 名：大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校

代 表 者：野田さぎり（ノダ サギリ）

事業概要：

高校生が開く習い事教室は、地域の子供たちとの交流、小学生と高校生の相互成長を目的に、高校生が高校の教室を借りて放課後や土曜、日曜日に自分の得意な分野の習い事教室を開くというビジネスプランである。高校生が部活や仲のいい友人同士でグループを組み、週に一回、教室を設ける。地域に住む人であれば使用料を払い教室を開くことができる。本格的にやりたいのであれば、ちゃんとした指導者がいる教室に行く必要があるが、とりあえずいろんな経験をさせたいと考える親も多い。そんな時、いろんな教室を渡り歩くのは費用も時間もかかる。そこで、学校で様々な教室を開くことによって、地域の子供たちに格安で新しいことに挑戦させてあげることができる。利用料は一回 500 円で月払いすると 1500 円で習うことができる。



◆準グランプリ

対象事業：アイグラス型片耳ヘッドフォン～eyephone～

学 校 名：大阪府立四條畷高等学校

チーム名：人参とてんとう虫

代 表 者：元平勝太(モトヒラ ショウタ) 他 3 名

事業概要：

目の見えない人の外出をサポートする目的で、GPS などの現代技術を駆使した補助器具を開発するプラン



◆優秀賞

対象事業：Hair Resource Project

学 校 名：神戸星城高等学校 特進Sコース 2年

チーム名：グループSH

代 表 者：坂口 隼都(サカグチハヤト) 他 2 名

事業概要：

日本には多数の美容院・理容室(以下、理髪店とする)などがある。より身近なデータと比較するとコンビニエンスストアの数を美容院だけで超えているのである。これほどの数が存在する理髪店で切られた髪の毛はどのように処分されているのか疑問を持ち、インターネットによる調査と店舗に対する聞き込みを行った結果、そのほとんどが産業廃棄物として処理されていることが明らかになった。その処理についても理髪店が高い費用を負担し専門の業者に処理を委託していることが分かった。

しかし、切られた髪の毛の処分方法を調査している過程において、昨今の様々な研究成果として、髪の毛を資源として活用できることが分かってきた。

このビジネスプランは理髪店から排出される髪の毛の資源活用に焦点を当て、既存の理髪店だけでなく、自治体にも協力を呼びかけ、予算化していくことも可能なビジネスプランであると考えている。また、髪の毛を資源として、燃料電池やソーラーパネル、オイルフェンスを製造・販売することを提案するものである。これにより理髪店の費用軽減、化石燃料などの枯渇資源の使用量が減るなど、Win-Win なプロジェクトとして新たな地球環境保護策を提案するものである。



◆優秀賞

対象事業：VRで認知症患者を救え！～「誰でも気軽に」回想法～

学校名：神戸星城高等学校 特進Sコース 2年生

チーム名：Gチーム

代表者：川上 達也(カワカミタツヤ) 他2名

事業概要：

現在、日本では高齢化が進み、それを取り巻く社会問題が数多くある。本プランはその中でも高齢者の認知症問題に目を向けた。我が国における認知症患者は年々増加しており、厚生労働省の発表によると、今から五年後の2025年には、高齢者の約5人に1人が認知症を患うとされている。認知症はその患者本人だけでなく、家族にも負担がかかり、家族の生活を変えてしまうほどである。そこで、本プランでは、認知症治療に有効とされている、過去の思い出を写真・音楽などで思い出して昔の経験や思い出を語り合う回想法という治療法がある。その回想法にVRを取り入れ、懐かしい風景や物をVR上で再現し、患者の回想法を手助けするアプリを開発し、それを販売したいと考えた。

ここで得た資金を身寄りのない老人や認知症患者、VR設備が整っていない人たちの為にVRの貸し出しと配送を行い、各家庭・各老後施設に行くなど、簡易に提供できる回想法実施支援配送サービスを提供しようと考えている。



◆優秀賞

対象事業：お出かけプランナー

学校名：大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校

代表者：南あかり(ミナミアカリ)

事業概要：

お出かけプランナーは、お出かけプランをAIが自動で計画してくれるスマホアプリである。自分が旅行に行きたい日付や時間、エリアや、やりたいこと、食べたいものなどをキーワードとして入力すると、AIが自動でそのキーワードにあった旅行プランを組み立ててくれる。また、人気の観光地や場所を含んだモデルプランもあらかじめ用意されているので完全なノープランの状態でも気軽に利用してもらえる。



◆優秀賞

対象事業：『くらべてわかる！アイヌのこと』マイノリティ問題に踏み込んだ
子供向け絵本を販売しよう！

～クラファンでの資金調達とSNSで活動をアピールしながら賛同者・
支援者・話題作りを獲得するニュービジネススタイルでの挑戦～

学校名：梅花高等学校 2年生

チーム名：ドリームキッズプロジェクト

代表者：岩見朱莉(イワミアカリ) 他9名

事業概要：

日本の先住民族であるアイヌの子どもと現代の同じ年齢の子どもを比較した絵本を企画・作成し販売を行う。マイノリティへの理解を深め啓蒙するための活動などを通じて、販路拡大を進める。

